

レベル2地震動適応製品

スぺーサージョイント テラプレス

下水道マンホール用
耐震性止水継手

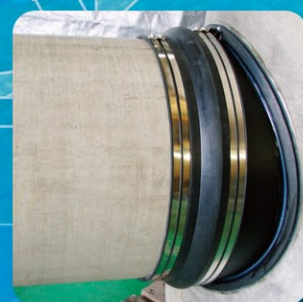
中・大口径シリーズ



高い水密性!!

優れた施工性!!

汎用性!!



SPACER JOINT TERRA PRESS

株式会社 **サンリツ**



レベル2地震動に対応!! 下水道マンホール用耐震性継手

特 長

- レベル2地震動に対応
 - 屈曲角1度かつ本管水平移動±60mmの状態を外水圧0.1MPaに耐える性能を有します。
- 高い水密性
 - パッキンのリップ構造に鋼製管を圧入することにより、高い水密性能を発揮します。
- 優れた施工性
 - 熟練作業を必要とせず、短時間で確実に取付ができます。
- 汎用性
 - 管種やマンホールの種類を選びません。

マンホールの躯体にアンカーボルト等の打ち込みを
必要としない為、マンホールの強度が低下しません。

管種別対応表

単位: mm

本管管種	呼び径	適応削孔径
塩ビ管	600	760
	500	644
	600	760
	700	886・910・940
ヒューム管 (B形)	800	1002・1020
	900	1120・1140
	1000	1234・1260・1270
レジン管 (B形1種)	600	760
	700	886
	800	886・910・940
	900	1002・1020
	1000	1120・1140
FRPM 管 (B,C,D形)	600	760
	700	886
	800	886・910・940
	900	1002・1020
	1000	1120・1140

※マンホール号数によって製品は異なりますので、注文時にお知らせください。

※製品により削孔径が複数あるものがあります。注文時にお知らせください。

※強化プラスチック複合管はメーカー・種別によって管外径が異なります。発注時には、実際に施工する管の外径をお知らせください。

施工手順

工場取付

1 削孔面の清掃



削孔面を清掃し、削孔面を充分に乾燥させてください。

※削孔面が乾燥していないとブチルテープが接着しません。

※パッキン取付位置に段差等がある場合は補修してください。

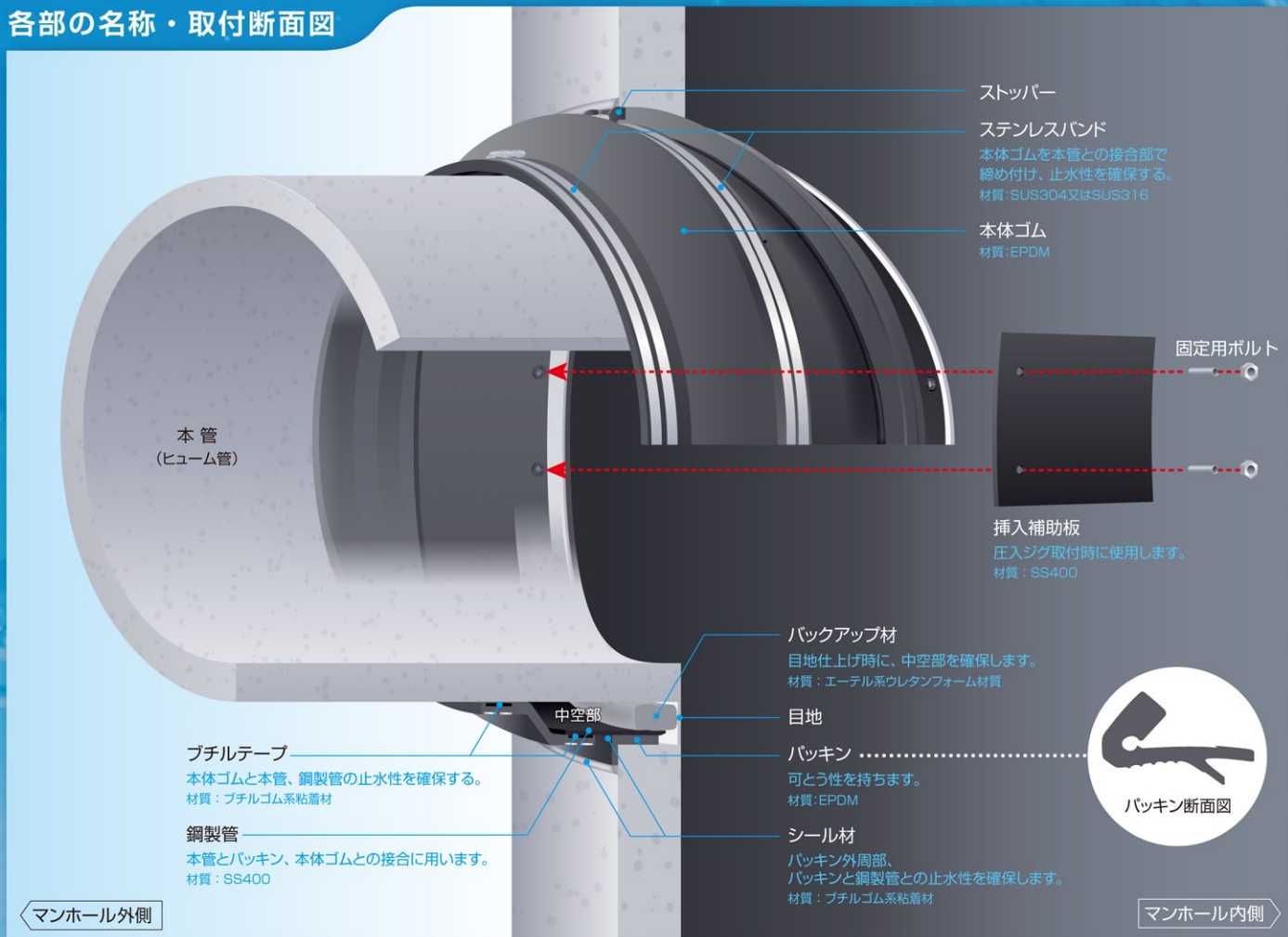
6 本体ゴム取付



※離型紙が残らない様にしてください。

【工場取付完了】

各部の名称・取付断面図



施工に必要な工具

- ウエス ●モンキーレンチ ●ボックスドライバー (8mm)
●コーキングガン ●滑材 ●六角レンチ (5mm)

 施工方法は、HPにて動画で確認できます。
<http://www.sanritsu.com>

施工方法の動画は、
QRコードからアクセスします。
※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



2 パッキン取付



削孔面が乾燥している事を確認し、パッキンの
↑印を真上にしてセットします。その後、パッキ
ンをめくりブチルテープの離型紙を少しずつ
剥がしながらパッキンを削孔面に取付します。
※離型紙を先に剥がさないでください、取付が
困難になります。
※離型紙が破れないようにしてください。

3 鋼製管取付

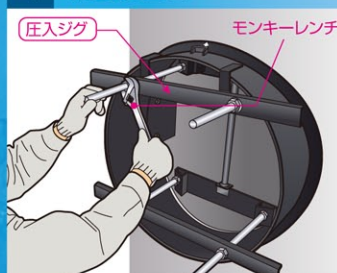


挿入補助板を鋼製管に固定用ボルトで固定します。パッキンのリップ部および、鋼製管に滑材を十分に塗布します。その後、鋼製管のストッパーの位置を真上にして手で入るところまで挿入します。

※固定用ボルトが鋼製管の外側に出ないようにしてください。

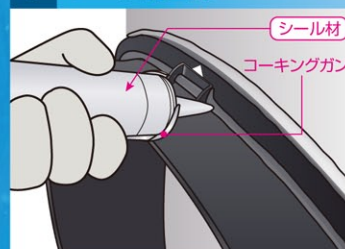
※手を離しても鋼製管が外れない事を確認してください。

鋼製管圧入



圧入ジグを使い鋼製管を圧入します。
※鋼製管の圧入は圧入ジグ取付手順に従って
ください。

5 シール材塗布



パッキン外周部とパッキンと鋼製管の間に十分にシーラ材を塗布します。
※シーラ材塗布面が乾燥していることを確認して塗布してください。

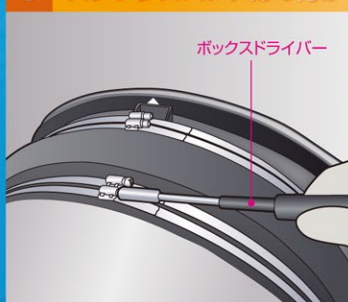
現場施工

本管插入



本管外周を清掃し、本管を挿入します。
その後、本体ゴム内側にあるブチル
テープの離型紙をゆっくりと剥がします。

ステンレスバンド締め付け



ステンレスバンドを十分に締め込みます。
(締め込みトルク5~7N・m)

バックアップ材挿入



本管と鋼製管の隙間にバックアップ材を挿入し目地仕上げを行います。

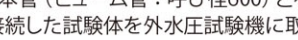
⚠ 注意事項

- 削孔面に段差等がある場合は、補修してから製品を取り付けてください。
- 削孔径の許容範囲は±2mmです。許容範囲を超える場合は、ご相談ください。
- 埋め戻しの際、不同沈下が生じないように、継手下部は充分に締め固めてください。
- 単管への接続(将来管等4m以下の接続)等、通常使用以外での使用はできません。やむを得ず使用する場合は適切な処置を行ってください。
- 施工手順①～⑥は工場取付、⑦～⑨は現場施工になります。

JQA	
 試 験 成 績 書	
株式会社 サンリツ 殿	
試験品内容: [種 別] スーパージョイント テラブレス (H1P600) …1個 [製 造 者] 株式会社 サンリツ	
試験 項目: 抜曲・外肉付試験	
試験 方法: 製造業者の方法による	
試験 場所: 株式会社 サンリツ 富山県石川町15番地	
試験 日: 2009 年 7 月 8 日 ~ 2009 年 7 月 9 日	
試験 結果: 次頁以降のとおり	
注1: 上記試験は、試験物品により規定された試験品を、試験方法の設備等を使用して実施したものである。 2: 試験品の写真に基づいて、試験内容、試験方法の試験結果に基づき表記したものである。	
試験の結果は、上記のとおりであることを証明します。	
2009 年 7 月 15 日	
愛知県北名古屋市神宮南 20 番地 財団法人 日本品質保証機構 中部試験センター 所 長 日比野 泰寛	
この試験成績書の所載、一部分の複製等をするときは事前に当該機構の承認を受けて下さい。	

外水圧試験

一般財団法人日本品質機構による現地確認試験内容は以下の通りです。

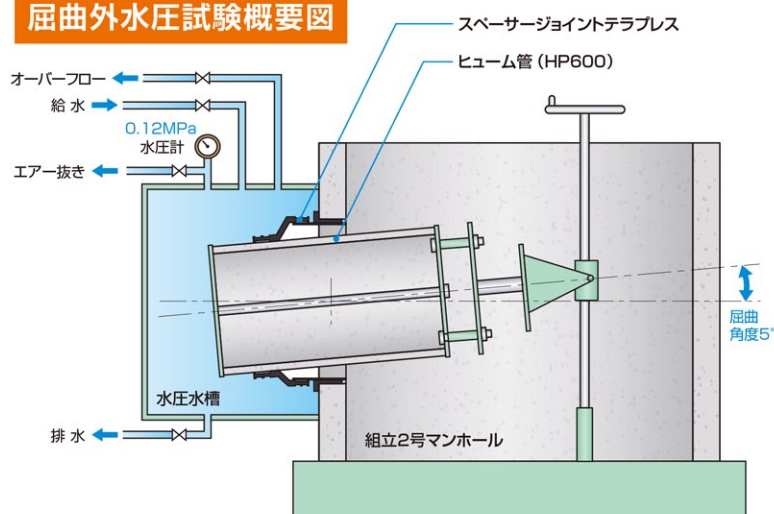
- (1) マンホール（組立マンホール2号）と本管（ヒューム管：呼び径600）とを、スペーサージョイントテラプレスをを用いて接続した試験体を外水圧試験機に取り付ける。
 - (2) 下記の条件で固定する。
本管の屈曲角度：5°
 - (3) 外水圧試験機に水道水を注入し、水圧を0.12MPaに調節し、3分間保持する。
 - (4) 3分間経過した後、壁接合部からの漏水の有無を目視にて確認する。
- 

試驗結果

壁接合部からの漏水を認めなかった。



屈曲外水圧試験概要図



SANRITSU 株式会社 サンリツ

■ 本社 〒930-3251 富山県中新川郡立山町上中143番地
Tel.076-462-9325 Fax.076-462-9334
✉mail@sanritsu.com

■ 技術センター（相談窓口） 0120-300-635

■ 仙台支店 Tel.022-796-7370 Fax.022-796-7380

■ 関東支店 Tel.048-686-8892 Fax.048-686-8849

■ 北陸支店 Tel.076-462-9328 Fax.076-462-9334

■ 名古屋支店 Tel.0568-71-0699 Fax.0568-71-0944

■ 九州支店 Tel.0942-84-1274 Fax.0942-50-8460

■ 上中工場 Tel.076-463-5813 Fax.076-463-5819

■ 工 事 部 Tel.076-462-0360 Fax.076-462-9329

詳しい情報は
ホームページで

詳しい情報は
ホームページで <http://www.sanritsu.com>

※このカタログに記載の寸法・仕様などは製品改良などにより予告なく変更する場合があります。